

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	宇都宮市
取組の名称	市立小中学校の「食育月間」の取組
取組内容	本市におきましては、93校全ての小中学校と学校給食センターに学校栄養士を配置しており、日頃から地域の特色を生かしたおいしい給食の提供ときめ細かな食育を推進しています。食育月間中には、食育の一層の充実と定着を図るため、学校ごとに工夫を凝らしながら、以下のような取組を行いました。主なものを紹介します。 (1) 交流給食を通したコミュニケーション力の育成  〔親子給食〕  〔納入業者との交流給食〕 (2) 食事マナー指導を通した人間関係形成能力の育成  〔正しい箸の持ち方の指導〕  〔正しい食器の並べ方の説明〕 (3) 「栃木県民の日特別献立」を通した地域の特産物への理解の深化  〔県民の日特別献立〕 ・麦入りご飯 ・鮎のフライ ・かんぴょうの卵とじ汁 ・とちおとめいちごゼリー ・牛乳 ・ごまあえ 6月15日の「栃木県民の日」には、左の写真のように、各学校が工夫をして、栃木県の特産品を使用した献立を提供しています。

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	小山市
取組の名称	第11回おやま地産地消・食育フェア
取組内容	広く市民に地産地消・食育の情報を発信し、地産地消・食育への理解を深めてもらうことを目的に、毎年6月の「食育月間」に実施しています。 1 実施日 平成28年6月26日(日) 2 会場 道の駅思川 3 来場者 3,000人 4 主催 おやま地産地消・食育フェア実行委員会 小山市地産地消・食育推進協議会 5 主な内容 ◆第8回小学校対抗おやま食育かるたとり大会 楽しみながら食育・地産地消を学んでもらおうと作成した「おやま食育かるた」を活用した大会で、市内小学校27校の代表98名が手に汗握る白熱のかるたとりを披露し、会場は大歓声に包まれました。 ◆かんぴょう剥き実演&体験コーナー 栃木県特産のかんぴょう(夕顔の実)を手かんंनाを使ってむく体験を行い、今年も大盛況でした。かんぴょう農家による機械剥きの実演と干す体験もしていただき、貴重な機会に多くの方にご参加・見学していただきました。 ◆おやま「わ食の日」PRイベント 毎月8日をおやま「わ食の日」と定め普及啓発していることから、食にまつわる各種ワークショップを開催しました。野菜スタンプのランチョンマット作りや間伐材を活用したマイ箸作り、食器作りのポーセラーツ体験を行い、多くの人で賑いました。 ◆地産地消料理教室 小山市のブランド「おやま和牛」を使ったおにぎらずや地場産のとうもろこしスープなど、旬の味覚を味わっていただきました。午後は県産米粉のカップシフォンケーキを作り、楽しく自給率や地産地消について学んでいた機会となりました。



「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	栃木県
取組市町村名	芳賀町
取組の名称	幼稚園児体験農園事業
取組内容	芳賀町4Hクラブ員:5名(うち町職員1名) のぶ幼稚園児:約100名 幼稚園児が芳賀町4Hクラブ員に教えてもらいながら、ユートピア農園(市民農園)でさつまいもの苗植え体験をおこないました。 午前中10:00から11:30まで、園児1グループ(30名程)30分ずつ順番に苗植え体験をおこないました。 園児は、300本もの、べにあずまの苗を楽しそうに植えており、10月には、育ったさつまいもを園児達が収穫し、焼きいもにして食します。 この事業で、園児に農作物を育てることから食することまでの食の循環を体験してもらい、自然の恩恵や生産者を始めとした食に関わる人々への感謝の気持ちを育てることを目標にしています。 